

自然・歴史・文化に触れ、長門市の魅力をも未来へつなぐ

生涯学習・文化財課文化財保護室 ☎22-3703

ながと歴史民俗資料室の改修始まる

ながと歴史民俗資料室を改修する工事が始まりました。令和4年夏頃のオープンに向けて、市内に点在する歴史的資料を集約・整理し、文化財の価値や魅力を市民に分かりやすく紹介したり、広く発信するための拠点施設を目指します。

また、文化財専門員を配置し、民俗資料のデジタル化や普及啓発の拡充を図っていきます。

■改修後はどうなるの？

収集保存

市内に点在している長門市域の自然・歴史・文化の貴重な資料を集約し、収集・保存を行います。

断熱・遮光を施した収蔵庫を整備し、国、県、市の指定文化財などは、適切な温度・湿度環境のもとで保存を行います。

展示

エレベーターや授乳室を新たに設置し、フロアをバリアフリー構造としています。

常設展示は実物資料、複製品、映像などを用い、長門市の自然・歴史・文化を学習できる内容とします。

連携・情報発信
くじら資料館、村田清風記念館、香月泰男美術館、金子みすゞ記念館などのネットワークを構築し、利用者の活用の広がりを支援します。

観光客も気軽に立ち寄れるよう、最新の映像技術などを活用した展示を取り入れ、SNSなどを利用した観光情報の発信を行います。

管理運営

収蔵資料を安全に管理するとともに、文化財の活用などを円滑に進めるため、効率的で一体的な管理運営を行います。

また、利用者の多様化するニーズに応じた事業を展開するため、市民の参画、協働を進めていきます。

学習支援・交流促進

体験学習や史跡探訪など長門市の自然・歴史・文化の魅力を伝える各種講座を開催し、子どもから大人まで幅広く市民の学習を支援します。

市民が気軽に資料館を訪れ、快適に過ごせるよう休憩スペースなどを整備し、自然・歴史・文化を学び交流する機会をもてるよう取り組みます。



▲文化財拠点施設の整備に向け改修工事に着手

基本理念

長門市全体の自然・歴史・文化資料の一大拠点として活用する施設

基本方針

- ①長門市域の貴重な自然・歴史・文化に関する資料を収集、保存、活用し未来へ継承
- ②自然・歴史・文化について市民が集い、学び、交流する拠点
- ③長門市域の歴史文化施設のネットワーク拠点
- ④長門市域文化財の保護活動の拠点
- ⑤文化財を通じた観光情報の発信拠点

※画像はイメージです